



第77巻 第4号
年4回発行
社会福祉法人 慈生会
〒165-0022
東京都中野区江古田3-15-2
TEL 03-3387-5567
http://www.jiseikai.jp
振替口座 ベタニアの家
00170-6-15317

養護老人ホームの現状と課題

木嶋 大

聖家族ホームは、昭和三十四年一月に故フロジャク神父様により「聖家族養老院」として創設されました。その後、昭和三十八年五月に一棟を増設し定員一〇〇名になり、昭和四十年には老人福祉法が制定され、名称が「聖家族ホーム」と変更になりました。現在は、定員八十名で全室個室という形で運営しています。

介護保険制度が高齢者福祉の中心となる中で、養護老人ホームは影の薄い存在と言わざるを得ない状況となっています。東京都福祉保健局のホームページでは、平成三十年七月現在、東京都内の特別養護老人ホーム五百二十三施設定員四万六千九百九十三名に対して、養護老人ホームは三十二施設定員三千四百三十一名です。養護老人ホームは、特別養護老人ホームに比べておよそ施設数で十六分の一、定員でも十四分の一しかありません。

養護老人ホームは契約ではなく区

市町村の「措置」による入所です。「措置」とは行政処分の一つで入所の可否を区市町村の判定会議が決定します。また、措置に係る費用は、

一般財源が充てられます。一般財源は地方自治体が自由に使える財源で、生活保護費等の特定財源とは異なり、全額が区市町村の負担になります。そのため一部では養護老人ホームへの措置を控える「措置控え」という言葉も囁かれます。東京都の養護老人ホームは比較的充足率が高く、あまり実感がありませんが、都外の養護老人ホームでは、充足率が低い場合他の高齢者施設に転換するところもあると聞いています。

老人福祉法では、養護老人ホームについて「六十五歳以上の者であつて、環境上の理由及び経済的理由（政令で定めるものに限る。）により居室において養護を受けることが困難な方を受け入れ、養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことを目的とする施設とする。」

とされていますが、近年は高齢によりこれまでの生活環境で生活が出来なかった方、DV被害の方の入所が多くなって来ています。また、介護保険の要介護認定を受けている方も多くなり、重度化が進んでいます。聖家族ホームでも三割以上の方が要介護認定を受けています。要支援一から要介護三までの方が、介護保険のサービスを利用しながらも、養護老人ホームで暮らしていくという形が徐々に増えて来ています。

養護老人ホームの大きな課題は、老朽化した施設を建て替える問題です。建替えの際に東京都の補助金を活用しようとする「特定施設」に変更しなければなりません。「特定施設」になると、利用者が介護保険を利用する際に、養護老人ホームが訪問介護事業所と利用契約を行い、施設ケアマネの配置や支援員の増員が必要となり、措置費の単価も大きく下がります。従って、人件費が増加し措置費収入が減少することとなり、経営に大きな影響が出ます。

以前、東京都社会福祉協議会高齢福祉施設協議会の養護分科会で特定施設に転換した場合の試算を行なっています。規模によって違いはあるものの年間で百万円単位の減収になるという結論でした。

そのため、都内三十二の養護老人ホームの中で、特定施設は新しく建設された二カ所しかありません。建

物が老朽化している多くの養護老人ホームは「特定施設」に変更すると収入減となるため「特定施設」への移行と建替えに躊躇している現状です。聖家族ホームも徐々に老朽化が進む中で、いずれ避けて通れない課題です。聖ヨゼフ老人ホームと共に、法人本部の協力、指示を受けながら最善の方法を見つけて行きたいと思っています。

養護老人ホームは、数が少なく課題も山積していますが、単身・独居、年金額の少ない高齢者が、地域で生活出来なくなった際の受け皿として今後必要です。これからも、職員一同でご利用者の生活を支えて行きたいと考えています。（聖家族ホーム施設長）

『ベタニアの家チャリティーコンサート』開催のお知らせ
今年もベタニアの家チャリティーコンサートを開催いたします。皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

日時 平成三十年十一月十一日(火)
開場 午後五時半
開演 午後六時

場所 練馬文化センター(小ホール)
出演 鈴木直樹&スウィングエース
チケット 三千元(予定)
チケット&申込問い合わせ
(社福) 慈生会 法人本部事務局内
ベタニアの家チャリティー
コンサート実行委員会
ベタニアの家チャリティー
コンサート実行委員会

夏休み最後の思い出

関 広宣

夏休みの終わり間近になりますと、毎年恒例の行事が行われます。「平和と感謝のミサ」と「ファイヤー祭」です。この二つの行事は、当日続けて行われる流れになっています。

どの行事もそうですが、旧園舎での行事の印象が強いため新園舎でもできる限り、同じように実施したいところです。しかし「ファイヤー祭」については、どうしても変更しなくてはならないことが出てきました。例年、「ファイヤー祭」の始まりは学園前庭で夕食として、バーベキューで肉、野菜、焼きそばを職員が暑い中、汗を流しながら炭火で焼き、それを、みんなで、食べていましたが、施設内で、バーベキューをする場所が難しいということで、代案を考え、ホールでのビュッフェ形式にし、食事の購入と簡単に調理できるものを用意することにしました。食を終えてからのプログラムの都合上、食事の片付けを、みんなで手伝った後、二部の始まりになります。それぞれの行事についての内容はこのあとに続きます。

【平和と感謝のミサ】

目的が三つあります。『ベトレヘム学園の歩みがたくさんの方に支えられてきたことを感謝し、心をひとつにして新しい歩みを始めることができるように祈るため』『私たちが生命をいただいていることに感謝し、苦しんでいる人や困っている人への思いを向けて、世界の平和を祈るため』『夏休みを無事に過ごせたことを感謝し、聖母の被昇天を祝うため』としています。

子どもたちは事前にミサの歌の練習をしており、元氣よく歌えていました。

今年、秋津教会の天本神父様より、ベトレヘムについて、スライドを使用して、お話をいただきました。

〈天本神父様のお話〉



【ファイヤー祭】

ミサからの流れでホールに集まり、まずはジュースで乾杯し、ビュッフェ形式での夕食を、お腹いっぱい、おいしく、楽しくいただきました。また、全員での食事は格別でした。



食事の後は、第二部として、新任職員によるクイズ大会、小学生低学年のダンス披露、夏の行事の報告として、写真のスライドショーを映

して、子どもたちの感想を聞き、最後はみんなで歌をうたって終わりました。



この夏、悪天候も多いなか、予定していた行事は、中止や中断することもなく実施できました。子どもたちが元気に、大きな事故もなく過ごすことができましたことに感謝したいと思います。

(ベトレヘム学園副施設長)

三十年永年勤続表彰を受けて

あつという間の三十年

澁谷 雅洋

去る六月二十七日に、勤続三十年の表彰をいただきました。三十年は長い様で、あつという間でした。私が入職した頃は介護保険制度はまだ始まってなく、入所されている利用者は今では考えられない位に元気な人がたくさんいて、まさに隔世の感があります。

この職場に来て一番感謝したいのは、私が自分の子供を職場に連れてきて温かく迎え入れてくれたことです。そのおかげで、バザーの手伝いを子供と一緒にしたり、当時は法人で取り組んでいた赤い羽根共同募金の活動にも一緒に行くなど、ボランティア活動が身につくことができ、今でもバザーの手伝いに来てくれます。

昔は施設全体で行っていた赤い羽根共同募金の活動に私も参加し、募金をお願いしました。共同募金での最大のライバルはボーイスカウトの子供達です。私みたいなうさんくさいおっさんの募金箱に入れるより、小さな子供の募金箱に入れようと思うのが当然です。また、シスター達も力強く募金をドンドン集め、私の募金箱はいつもほとんど空っぽでした。私のことを不憫に思ってくれた小さな子が、ごくたまに入れてくれる程度でした。そんな中、私自身も

驚いたのですが、ある時いつも通りに募金をしていたら、ごく普通の青年が、私の募金箱に何と千円札を入れてくれた事があり、これは本当にうれしかったです。

他にもいろいろな事が有りましたが、貴重な経験をさせてもらった慈生会に感謝したいと思います。ありがとうございます。

(聖ヨゼフ老人ホーム)

勤続三十年に感謝を込めて

鳥海 典代

去る六月二十七日、永年勤続表彰式におきまして、勤続三十年のお祝いをさせていただき、ありがとうございます。心のもった祝賀会では、シスター方や研修でお会いした職員の方々等、久しぶりの再会で懐かしさと嬉しさとともに、慈生会の一員であることを感じる事ができ、素晴らしい一日となりました。

長年勤務させていただけたのは、私に関わってくださった全ての方々のおかげがあったからと思っています。私は昭和六十三年、慈生会本部に入職しました。当時は全くと言っていいほど無知で、当時の事務長さんは手を焼いていたと思います。その後ベタニアホーム事務、ベタニア・デイ・ホーム、慈しみの家で直接処遇の業務を経験させていただきました。今思うとお年寄りやご家族との関わりの中で思慮すること、受け入れることの気付きがあったことが私の中で恵みだと思っています。多く

の業務を経験させていただき感謝しがあります。今後でも微力ではありますが、お仕事で貢献できるよう努めて行きたいと思っています。

(本部事務局)

三十年利用者から学んだこと

面川 浩美

この度は永年勤続表彰をいただき、ありがとうございます。三十年という事です。実は、「そんなに時がたったのかしら？」という感想です。ただ、この表彰をいただいたことで、自分の人生を振り返る、そして、ここに活かされていることに感謝する良い機会になりました。

Sさんは「じじい」「ママ」「やだなー」と数えるくらいの言葉数、その彼は、ミサでは、静かに手を合わせます。そして、そのまなざしの先には、イエス様。Kさんは、いつも笑顔で挨拶をします。彼女は、必ず、マリア様の前で手を合わせます。Aさんは、ダウン症で音楽とダンスが大好きな方です。彼女は、言葉の模倣をすることは出来ても自発で言葉を発することはなかなかありません。でも彼女は「・・・できますように、神様、おねがいします」と一生懸命です。私は信者ではありませんがこの三十年「祈る」「思う」「願う」ことの大切さを、利用者様から、教えていただきました。想い祈ること、問題が解決、穏やかになったこと

ともありました。私は慈生会で働くことが出来て本当に良かったと思います。感謝。(マ・メゾン光星)

勤続三十年を迎えて

本間 京子

去る六月二十七日、ベタニアの家創立記念感謝の祭儀におきまして、永年勤続表彰を受けました。祝賀会では、盛大にお祝をして頂き心から感謝いたします。

お世話になりましたシスターの方々は、お祝の言葉や素敵なカードを頂き胸がいっぱいになりました。長い間お勤めをさせていただいたのは、恵まれた環境、利用者さんの笑顔、職員の皆様が支えて下さったお陰でした。

改めて三十年を振り返ってみますと沢山の事を学び、沢山の出会いがあり、とても充実した年月であったように思います。

また、入職一年目クリスマスお祝会での聖劇は今でも忘れません。聖劇は、セリフのない無言劇で動作だけで、すべてを表現します。聖劇の配役に選ばれた利用者さんは一ヶ月の間、練習を経て徐々にその役になりきっていきます。その真剣で純粋な姿に感動を受けました。

この三十年の節目を迎え、新たな気持ちで再出発するとともに、多くの方々が支えて下さり、今の自分が有ることに感謝し、今後も皆様と苦楽を共に歩み、微力ながら貢献させて頂きたいと思っております。

(マ・メゾン光星)

ベタニアの家

十月行事予定



- 1日 慈生会 新任職員オリエンテーション
6日 徳田保育園 運動会
8日 《体育の日》
10日 慈生会職員研修
11日 キリストの心に触れる
13日 東星学園 指導 豊島治神父
14日 マ・メゾン光星 光星祭
21日 世界宣教の日
24日 徳田保育園 徳田まつり
28日 東星バザー
1日 諸聖人の日
2日 死者の日
3日 《文化の日》
14日 慈生会理事会・評議員会
18日 貧しい人のための世界祈願日
23日 《勤労感謝の日》
25日 王であるキリスト

十一月行事予定

- 2日 宣教地召命促進の日
待降節第一主日

- 8日 無原罪の聖マリア
9日 待降節第二主日
ベタニアの家
チャリティコンサート

- 12日 創立者フロジャク神父命日
ベタニアホーム 聖劇
徳田保育園 クリスマス会

- 16日 待降節第三主日
ベトレヘムの園病院
18日 東星学園 幼稚園
19日 東星学園 小学校

- 22日 慈生会 理事懇談会
東星学園 中高部
マ・メゾン光星 聖劇、降誕ミサ

- 23日 《天皇誕生日》
待降節第四主日
ベトレヘム学園 クリスマス会

- 24日 主の降誕夜中ミサ
聖ヨゼフ・聖家族ホーム
25日 主の降誕 ナザレットの家

- シスタークレメンシア 五位野 良子



一九二九年 三月十一日生
一九七〇年 二月十一日生
二〇一八年 七月十二日 帰天
ベタニア修道女会

「那須地区 光星祭」開催のお知らせ

今年も那須地区光星祭を開催することになりましたのでお知らせ致します。
皆様の来場をお待ちしております。
開催日 平成三十年十月二十四日(日)
時間 午前十時～午後二時
場所 栃木県那須郡那須町大字豊原乙 一一八九 (マ・メゾン光星)
連絡先 0287-77-11013

「中野地区 ふれあいバザー 徳田まつり」開催のお知らせ

今年も中野地区ふれあいバザー・徳田まつりを十月に開催することになりましたのでお知らせ致します。
皆様の来場をお待ちしております。
開催日 平成三十年十月二十一日(日)
時間 午前十一時～午後二時
場所 慈生会中野地区
連絡先 031338715567
ふれあいバザー実行委員会
徳田まつり実行委員会

「清瀬地区 ふれあいバザー どんぐり祭・健康まつり」開催のお知らせ

今年も清瀬地区ふれあいバザー・どんぐり祭・健康まつりを開催することになりましたのでお知らせ致します。
皆様のご来場をお待ちしております。
開催日 平成三十年十一月三日 (土・祝)
時間 午前十時～午後二時
場所 慈生会清瀬地区
ふれあいバザー実行委員会
(042149112528)
どんぐり祭実行委員会
(042149112529)
健康まつり実行委員会
(042149212525)

編集後記



ここ数年夏の終わりにベタニアホームでは、トータルサポートセンターの事業所と協同で、地域の皆様へ日頃のご支援の感謝を込めてイベントを開催しています。今年も「ベタニア森フェスティバル」の地域交流スペースを森のイメージに模様替え、近隣の子どもたちやお年寄りも遊びに来てくれ、ホーム利用者も交流の場にもなりました。また、来年も楽しいイベントを、と楽しみにしています。この夏は台風、地震と自然災害が続き、被災した地域の方々への復興を祈るばかりです。
(中村 英男)